



**「心を伝えようという気持ち  
があれば何だってできる」**

やま しな ひさ こ  
**山 科 尚 子**

(宇部フロンティア大学附属中 3年)

今回、私がオーストラリア・レッドクリフ市に滞在した二週間は、本当にアツという間でした。こうして私が、アツという間だと感じられるのは、山陽小野田市役所のみなさんやレッドクリフ市のみなさんが、私たちが毎日、楽しい思いができるようにいろいろと準備をさせていただいたおかげです。まず、お礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

レッドクリフでは、幼稚園、小学校、高校の訪問や動物園など、毎日のように私たちが喜びそうな予定が組んでありました。実際、そのどれもが楽しくて、順位を決めろといわれても難しいのですが、第一位だけは決まっています。私たちを楽しませるためにいろいろな予定を組んでくださった方々には悪いのですが、第一位は、ホストファミリーや現地の友だちと過ごした時間なんです。これだけは代えられません。みんなと過ごす何気ない時間が一番楽しかったのです。オーストラリアでのことを思い出そうとすると、まずみんなと過ごした時間のことが浮かんできて、そしてそれがなかなか頭から離れてくれないほどです。

オーストラリアへ行くに当たっての目標は、二度とないチャンスかもしれないのだから、後悔しないように何でも積極的に、やりたいと思うことはどんどんやっていくというものでした。もともと、明るいことだけ



▲習字にチャレンジ!! 教えるのが難しかった…

が取り柄の私の性格。だから向こうに行ってから緊張していたのはほんの一日、二日のこと。すぐに、本来の私のパワーが発揮され、ホストマザー(※3)には、こんな言葉までかけていただきました。「あなたは今までホームステイにきた子のなかで一番、愉快だわ。」私を含め、4、5回ほど留学生を受け入れたことがあるそうですが、みんなすごくおとなしかったそうです。こんな調子でいたから、現地の友だちだってすぐにたくさんできました。

一緒に食事をしたり、並んで歩いたり、一緒にイタズラをして笑い合ったりもしました。私が退屈そうな顔をしていると、決まって私のところに来てくれた友だち。片言の英語で何かを伝えようとする私の話を一生懸命に聞こうとしてくれた友だち。言葉や顔や生活環境、何もかも違うけれど、お互い、心を伝えようという気持ちがあれば、何だってできるということを私はレッドクリフで学びました。

本当にみんな優しくて面白くて、いい人ばかりで、いつの間にか私は自分が思っていたよりもずっと、みんなのことを好きになっていました。だから、別れは本当につらくて、涙が止まりませんでした。たった二週間足らず一緒に過ごただけで、こんなにも別れがつかなくなるとは、思ってもいませんでした。

今は、そんな大好きな人たちとは、手紙やEメールのやりとりをしています。オーストラリアで過ごした時間、出会った人々、私にとって、オーストラリア滞在中のすべてが最高の思い出、宝物です。最後に、私はオーストラリアに行って本当に良かった。今、心からそう思います。

(※3 ホームステイ先のお母さん)



▲ホームステイしたスチュワートさんご一家